

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

海田町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県安芸郡海田町

3 地域再生計画の区域

広島県安芸郡海田町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1990 年の 30,744 人をピークに減少しており、国勢調査によると、2010 年には 28,475 人まで落ち込んでいる。その後、2024 年 4 月末時点で、町の人口は 30,837 人（住民基本台帳）と人口増の局面にはあるものの、将来の人口減少は回避できない状況にある。国立社会保障・人口問題研究所によると、2060 年には総人口が 19,352 人となる見込みである。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14 歳）は 1995 年の 5,408 人であったが、2015 年には 4,185 人となっている。一方、老年人口（65 歳以上）は 1995 年の 2,974 人から 2015 年には 6,564 人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64 歳）も 1995 年の 21,633 人から 2015 年には 17,916 人となっており、減少傾向にある。

自然動態をみると、出生数は 2003 年の 429 人をピークに減少し、2020 年には 300 人となっている。その一方で、死亡数は 2003 年には 187 人であったが、以降増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は 2003 年には 242 人であったが、2020 年には 78 人となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、まちづくりのパートナーである地域自治組織は加入者の減少等、地域自治活動を維持しづらい状況となる等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらの課題に取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 子どもの健やかな育ちを支えるまちづくり
- ・基本目標 2 災害に強く安全なまちづくり
- ・基本目標 3 地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり
- ・基本目標 4 健康で安心して暮らせるまちづくり
- ・基本目標 5 誰もが輝くまちづくり
- ・基本目標 6 環境にやさしいまちづくり
- ・基本目標 7 にぎわいと交流のあるまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	保育サービス(保育所)に関する満足度(5年毎)	70.9%	73.3%	基本目標 1
	子育て支援(相談, 教室等)に関する満足度(5年毎)	77.9%	82.1%	
	児童館・児童クラブに関する満足度(5年毎)	72.6%	77.6%	
	自己肯定感を高めた児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	小学校85.6% 中学校80.2%	全国平均 + 1 ポイント	
	学校の教育施策の取組に関する満足度(海田町学)	81.0%	81.0%以上	

	校意識調査)			
	学校教育施設の整備状況に関する満足度	60.6%	66.2%	
	青少年の健全育成の取組に関する満足度（５年毎）	58.9%	63.7%	
	子育て支援（相談，教室等）に関する満足度	〇〇%	〇〇%	
イ	地震・水害などに対する安全に関する満足度（５年毎）	39.4%	43.3%	基本目標 2
	浄水場の事故発生件数	0 件	0 件	
	水道基幹道路の事故割合	0 %	0 %	
	災害によって亡くなられた人の数	0 人	0 人	
	自主防災組織への支援に関する満足度（５年毎）	65.4%	68.1%	
	避難所等の整備状況に関する満足度（５年毎）	46.1%	53.2%	
	犯罪認知件数	139件	121件	
	交通事故発生件数	87件	79件	
	消費生活の安心に関する満足度（５年毎）	62.2%	71.6%	
	治安・犯罪発生防止に関する満足度（５年毎）	60.2%	69.6%	
ウ	居住環境が良くなったと感じる住民の割合（５年毎）	35.4%	36.9%	基本目標 3
	街並み・景観の状況に関する満足度（５年毎）	68.6%	74.2%	

	都市計画道路整備率（５年毎）	32.7%	38.0%	
	幹線道路の整備状況に関する満足度（５年毎）	51.7%	52.4%	
	生活道路の整備状況に関する満足度（５年毎）	46.8%	48.7%	
	町内循環コミュニティバスの利便性に関する満足度（５年毎）	53.3%	57.3%	
	交通安全への取組、安全な環境に関する満足度（５年毎）	51.1%	52.8%	
	町内循環コミュニティバス利用者数	40,537人	47,414人	
	公営住宅の整備状況に関する満足度（５年間）	53.4%	60.3%	
	地区の住みよさについて住みよいと感じる人の割合（５年間）	84.9%	86.1%	
	水洗化人口	28,914人	29,145人	
	有収率（年間総有収水量／年間総配水量）	81.9%	83.7%	
エ	地域福祉を推進する取組に関する満足度（５年間）	72.5%	77%	基本目標 4
	ボランティア活動の支援に関する満足度（５年間）	69.8%	74.7%	
	地域活動・ボランティア活動に参加したい人の割合（５年間）	45.3%	46.6%	

	健康寿命の延伸（６年間）	男性 80.49年 女性 83.23年	平均寿命の増加 分を上回る健康 寿命の増加	
	健康づくりの推進に関する満足度（５年間）	79.1%	82.6%	
	要支援１及び要支援２の 認定率	4.3%	4.3%未満	
	介護保険高齢者福祉サービスに関する満足度（５ 年間）	70.3%	76.1%	
	福祉施設入所者の地域生活へ移行した人数	０人	１人	
	障がい者就労施設から一般就労へ移行した人数	３人	３人	
	障がい福祉サービスに関する満足度（５年間）	68.8%	78.5%	
オ	社会教育施設利用者延べ 人数	165,000人	192,000人	基本目標５
	生涯学習関連施設や学習 機会に関する満足度（５ 年間）	63.5%	64.4%	
	旧千葉家住宅見学者数	2,158人	2,363人	
	織田幹雄記念館来館者数	7,687人	8,000人	
	歴史的資源の保存・活用 に関する満足度（５年間）	77.6%	79.0%	
	文化スポーツ協会の総会 員数	1,748人	1,800人	
	スポーツ施設や活動機会 に関する満足度（５年間）	56.6%	58.64%	

	人権尊重のまちづくりへの取組に関する満足度（5年間）	73.6%	77.4%	
	男女共同参画社会に向けた取組に関する満足度（5年間）	71.8%	76.7%	
	多文化交流を推進する取組に関する満足度（5年間）	72.8%	74.1%	
	海田町国際交流協会の実施するイベントの参加者数	290名	299名	
カ	地球温暖化対策の取組に関する満足度（5年間）	52.0%	56.8%	基本目標 6
	住民一人当たりのごみ排出量	221kg	216kg	
	資源化率（総資源量／総排出量）	16.3%	17.2%	
	ごみの不法投棄件数	107件	72.8件	
	騒音、川・大気汚染の少なさに関する満足度（5年間）	53.1%	59.0%	
	川や海、水辺のきれいさに関する満足度（5年間）	62.6%	65.8%	
	公園・広場・緑地の整備状況に関する満足度（5年間）	59.7%	59.8%	
キ	住民活動団体の登録団体数	18団体	19団体以上	基本目標 7

	自治会加入率	75.1%	78.0%	
	地域コミュニティ活動の 支援に関する満足度	66.8%	68.7%	
	総観光客数	285,238人	302,375人	
	昼間人口（5年間）	28,980人	30,732人	
	海田市駅の乗降客数（一 日当たり）	19,830人	21,012人	
	地域経済循環率	101.5%	104.5%	
	町内総生産額	1,177億円	1,190億円	
	町内就業者数	14,107人	15,002人	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2 のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

海田町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 子供どもの健やかな育ちを支えるまちづくり事業

イ 災害に強く安全なまちづくり事業

ウ 地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり事業

エ 健康で安心して暮らせるまちづくり事業

オ 誰もが輝くまちづくり事業

カ 環境にやさしいまちづくり事業

キ にぎわいと交流のあるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 子どもの健やかな育ちを支えるまちづくり事業

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、これまでの取組を踏まえ

つつ、「かいた版ネウボラ」を中心とした妊娠期からの切れ目ない子育て支援の充実、学校教育の充実、子どもが健やかに育つ環境の整備に取り組む、『子どもの健やかな育ちを支えるまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・「かいた版ネウボラ」による妊娠期からの切れ目ない支援
- ・小中一貫教育のさらなる充実
- ・教育のICT化をはじめとする、教育環境の整備 等

イ 災害に強く安全なまちづくり事業

ハード・ソフトの両面で災害に備え、また防犯面でも安心して暮らしていけるよう災害の防止、災害対応の充実、暮らしの安全・安心の確保に取り組む、『災害に強く安全なまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・土砂災害・水害・津波対策の推進等
- ・犯罪が起きにくい公共空間の環境整備の推進 等

ウ 地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり事業

本町の恵まれた立地条件を生かした計画的な土地利用の推進、都市基盤の整備、快適な交通網の形成促進、快適な生活環境の整備促進、持続可能な上下水道の運営に取り組む、「地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり」を進める。

【具体的な事業】

- ・道路施設の適正な維持管理
- ・住民の生活の基盤となる交通手段の維持・確保
- ・公園の整備・充実 等

エ 健康で安心して暮らせるまちづくり事業

これまでの「支え手」「受け手」という関係を超えて、住民一人ひとりや地域の多様な主体が、年齢や障がいの有無等に関係なく、共に支えあう「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉や健康づくりの推進に取り組む、誰もが『健康で安心して暮らせるまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・多様な福祉サービスの提供体制の充実

- ・ライフステージに応じた健康づくりの取組促進 等

オ 誰もが輝くまちづくり事業

誰もが自分の夢や希望を持ち、まちづくりの担い手として、挑戦・活躍していけるよう、必要な仕組みづくりに向け、生涯学習の推進、歴史文化の継承、芸術文化・スポーツの振興、人権尊重と男女共同参画社会の形成、多文化共生社会の形成に取り組み、『誰もが輝くまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・企画展やイベント
- ・芸術文化活動・スポーツ活動の充実 等

カ 環境にやさしいまちづくり事業

地球温暖化による環境問題は深刻さを増しており、本町においても、豊かな自然環境の保護はもとより、自然と人の共生に向け、地球温暖化対策の推進、環境保全と循環型社会の形成、自然に親しむ環境の整備に取り組み、『環境にやさしいまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・公共施設等における温暖化対策の推進
- ・海田総合公園の整備推進 等

キ にぎわいと交流のあるまちづくり事業

関係機関等と連携しながら、事業者等にとって魅力的なまちを形成することにより、商工業の振興を行い、雇用の場の確保に努めます。また、町内の様々な地域資源をさらに磨き上げ、魅力を発信することで、関係人口の増加を図るとともに、地域活動の活性化を積極的に支援し『にぎわいと交流のまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・地域資源を活用したイベント
- ・県、商工会や企業等との連携強化 等

※なお、詳細は第5次海田町総合計画のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000 千円（2024 年度）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 11 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式 W E B サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から 2025 年 3 月 31 日まで